

北陸農政局長賞受賞

ひがしはらまちちいきかっせいいかじっこういんかい
○東原町地域活性化実行委員会（石川県金沢市）

本地区は、富山県との県境に位置する山間地域であり、近年は人口減少、高齢化が進み、深刻な後継者不足によって地域の活力が急速に失われつつあり、近隣において消滅した集落もあるため、危機感を強く抱き集落存続に向けて活動を開始した。平成14年には「東原町活性化推進協議会『ゆめ街道304東原』」設立し、より一層の活性化に向けた活動を行ってきたが、活性化が思うようには進まず苦慮していた。

このような中、国道の測量業務に携わった企業（後のNPO法人の構成母体）が当地に入り、地域資源の保全、地域課題の解決等について、集落と相談の場を持ったことから、平成23年には、これまでの協議会を発展させ、集落住民と外部の活力であるNPO法人を加えた「東原町地域活性化実行委員会」を設立した。

実行委員会では、今後10年、20年と地域の世帯数が現状の40世帯を維持して自然と共生する地域づくりを達成するため、荒廃農地の再生を行い整備した農園を活用して都市住民が参加する「農業体験」、森林整備で排出した竹チップと食品残渣による堆肥の製品化など様々な角度から地域づくりの活動を実施している。

農業生産においては、人口衛星による稲の生育診断を行い、的確な栽培管理を図ることによりブランド米として販売しており、また機械の共同利用を促進し経費の削減を図り、経営改善に向けて取り組まれている。

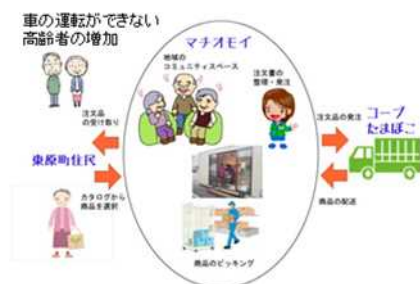
住民の生活改善として、「買い物」への不安に対するサポート活動として、高齢者への買い物代行と見守り、お年寄りと子供の接する場の設営などに取り組み、また、インターンシップを通して集落と触れ合った学生が当地に移住し、若い力が集落に加わるなど、高齢化した集落において地域活性化に向けて顕著な成果が見られる。



耕作放棄地の再生



ブランド米（東原米）



買い物支援の取組



東原ふれあいフェア



東原町里山インターシップ



移住に向けての検討